2020年12月21日

高知工科大学の学生の皆さんへ

高知工科大学長 磯部雅彦

学長メッセージ（年末年始の過ごし方について）

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが高知県にも広がり、多くの感染者を出すようになりました。本学での感染者数を最小限に抑えていることは、すべての学生・教職員の協力によるものとありがたく思っています。しかし、それでもすでに 2 人の学生の陽性が確認されました。そこから先の広がりは抑えているものの、これにより陽性となった学生が大変な思いをするとともに、多くの接触者が自宅待機しなくてはならず、また教職員は授業などの活動の継続のために膨大な作業を行わなければならない状況にあります。これ以上の感染者を出すと、大学活動をさらに制限せざるを得なくなります。

現在、大学では、高知県から感染拡大中の都道府県に行った際には、健康観察のために2週間の待機を義務付けています。そして、これから年末・年始にかけての冬休みを迎えるにあたり、感染者との接触可能性が高まることが懸念されます。そこで、普段にも増して、感染拡大地域への往復や感染危険度の高い飲食など、感染の可能性が高まるような行動を回避するようにし、最大限の注意を払ってこの期間を過ごして、健康に新年を迎えるとともに、今年度の学修を有意義に完了してください。